



●みやこし
みやこしみんこうりゅうせんたーぼうさいびらざ

宮古市

宮古市市民交流センター防災プラザ

●みやこしみんこうりゅうせんたーぼうさいびらざ

震災の事実を知り、防災について学ぶ場所

宮古市の被害状況

最大震度	5強
浸水面積	10km ²
最大浸水深	38m
全壊	2,677棟
半壊	1,328棟
一部損壊	444棟
死者	517人 ^{注①}
行方不明者	94人
負傷者	33人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

宮 古市の震災被害や復興の歩みを紹介する防災プラザは、宮古駅前広場からクロステッキで直結するイーストピアみやこの宮古市市民交流センター階にあります。隣接する休憩エリアとの仕切りがないため、交流センターの開館中はだれでも自由に見学することができます。2階には多目的ホールや子育て世代が交流できるふれあいひろばもあるので、幅広い年代の方々が集まる場所にもなっています。

自然災害や防災・減災に関する意識向上を目指した展示では、津波伝承に関する石碑マップや、市内で撮影された津波の映像、震災関連の書籍などが用意されており、多角的に震災を学ぶことができます。また災害を知らない子どもたちに向けた防災ゲームや紙芝居の読み聞かせといったコンテンツも充実。大人も子どもも一緒に楽しみながら学べる工夫に富んだ施設となっています。

平成30年(2018)10月にオープン。防災プラザが入るイーストピアみやこは未来に向けた防災まちづくりの拠点となっている。さまざまな映像の上映や模型の展示などを用いて、わかりやすく解説している



宮古市における東日本大震災の経験や教訓、復興の過程のほか、過去の災害の歴史について紹介している。防災について日常生活から取り入れられる書籍なども充実しており、自由に閲覧できる



さまざまな映像資料を視聴することも可能。子どもでもわかりやすい防災クイズコーナーで学習したり、デジタルや模型などの展示を通して自然災害や防災・減災についての意識向上を目指している

考えてみよう

Q1 防災プラザが入るイーストピアみやこは、災害時の一時避難場所として活用される場合があります。施設にはどのような設備があるのでしょうか。

A1 非常用自家発電設備や防災備蓄倉庫などが備わっている。防災まちづくりの拠点施設としての役割を担っている。

宮古市

宮古市市民交流センター防災プラザ

展示
交流拠点

施設ガイド **車椅子OK**
※要予約

施設DATA

●みやこしみんこうりゅうせんたーぼうさいびらざ
宮古市市民交流センター防災プラザ

☎ 0193-63-4166 MAP P112E3

📍 宮古市宮町1-1-30
🚶 三陸鉄道宮古駅から徒歩3分
🕒 9~21時
🆓 無料
🆓 あり(大型バス:要問合せ)
<https://eastpia-miyako.jp>